

平成29年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充 マスタープラン： 3つの挑戦 / 低炭素 施策番号： 5-1

局・課名： 環境局・環境エネルギー課

事業名	スマートハウス等導入支援事業		事業費(千円)	平成27年度決算額 108,962	平成28年度予算額 125,311	平成29年度要求額 105,251
	【目的】	2017年2月17日変更	債務負担行為	期間 H ~ H	要求額(千円)	
事業概要	住宅における安全・安心、再生可能エネルギーの効率的な利用を図るスマートハウスの普及により「クールシティ・堺」の実現をめざす。また、市内工務店向けのZEHセミナーを実施し、市域のネット・ゼロ・エネルギー・ハウス創出を支援する。		主な要求内容 (単位:千円)			
	【内容】	○スマートハウス普及促進事業 ・戸建住宅に太陽光発電、HEMS、エネファーム、蓄電池(V2H)、ガス併用型ハイブリッド給湯器のうち、2種類以上の導入を条件に費用の一部を補助。 ・集合住宅への蓄電池、HEMS、エネファーム導入費用の一部を補助。 ・戸建て住宅への太陽熱利用システム(強制循環)導入費用の一部を補助。 ○ネットゼロエネルギー住宅(ZEH)普及支援セミナー ・主に市内工務店を対象として、ZEH建築にかかる専門技術・申請書作成技法等を効率よく学べるセミナーを実施する。	項目	28年度予算	29年度要求額	内容・積算等
			スマートハウス・ZEH普及支援			積算は以下のとおり
				61,875	61,875	太陽光: 25,000円*4.5kW*550件
				13,000	6,500	HEMS: 10,000円*650件
				20,000	15,000	燃料電池: 100,000円*150件
				27,000	16,500	蓄電池: 150,000円*110件
					250	ガス併用型ハイブリッド給湯器50,000円*5件
				750	1,500	V2H: 150,000円*10件
				1,500	1,500	太陽熱利用: 150,000円*10件
		その他(事務費)	1,186	2,126	賃金等	
		合計	125,311	105,251		
スケジュール(経過及び今後展開)						
		【経過(～28年度)】	【29年度】		【今後予定(30年度～)】	
		・リース機器への補助拡大 ・太陽熱利用システム補助対象を強制循環型に特化 ・申請件数・内容の検証	・スマートハウス等導入支援事業の開始 ・エネファームに対する補助を集合住宅に拡大		・随時補助制度を見直しながら継続実施 ・ZEH支援事業の拡大	
その他 特記事項						
関連事業:						
【今年度要求のポイント】		○エネファーム設置に対する一部補助を集合住宅に拡大することで、家庭における水素エネルギー利活用を促進する。 ○2019年問題や、システムの安定化対策のため昼間太陽光発電の電気を有効に使えるガス併用型ハイブリッド給湯器を補助対象に追加。 ○市内におけるZEH創出を支援するため、工務店向けのZEHセミナーを開催する。				

整理番号： 10 - 1 - 0140